豫　　告

日本鐵鋼協會第拾三回講演大會（秋季）に關する件

本會第拾參回講演並に見學大會を本年秋季（十月中旬の豫定）滿洲に於て擧行の事に決定致しました。往途大連經由歸途朝鮮經由往復約二週間の豫定です。時恰も滿洲國では本年3月1日新帝國の成立を見ました上昭和製鋼所は着々新製鋼工場建設中であります。其他撫順炭坑、本溪湖製鐵所の外滿洲諸工業の見學並に國都新京の訪問等潑剌たる新興の風貌に接觸する事は會員一同の歡迎せらるゝ事と信じます。尙ほ歸途安奉線を經て朝鮮兼二浦製鐵所をも視察する豫定です。何卒奮て御參加あらん事を希望致します。何れ詳細は追て御報導申上ますが以上豫告致します。

追て以上大會に際し講演者として御出演希望の方は次記要項御一覽の上來る七月三十日迄に本會宛御申込下さい。

昭和九年四月　　日本鐵鋼協會

要　　項

1. 講演申込期日は昭和九年七月三十日限りとし締切は勵行致します。
   同期日迄に演題とその講演大要（約800字以內）を必ず本會宛御送附の事。
   本會にては其大要集を編纂し出席申込者へ出來得る限り早く配布します。
2. 七月三十日迄に論文の全文を御送り下されば論文全部の前刷を作り出席者に配布致します。此場合と雖も講演大要は是非とも御送附を願ひます。
3. 講演の實際に要する時間を御申込と同時に御記入下さい。

日本鐵鋼協會既刊物及頒布品一般分讓廣告

（1）鑄物號　（鐵と鋼第十五年第十二號）　一部金五拾錢（郵稅共）

（2）日本鐵鋼協會第六回研究部會第二回製鋼部會記事
（鐵と鋼第十九年臨時增刊）　一部金七拾五錢　（送料共）
主題　（內容）「製鋼平爐操業上之に附屬する蓄熱室は如何なる程度に熔損せる後之を修理するを以て經濟上最も利益なりとするや其熔損程度の決定」

（3）製鐵業參考資料　（商工省鑛山局編昭和八年六月調）　一部金參拾五錢　（要送料四錢）

（4）日本標準規格　JES（明細目次は鐵と鋼に揭載あり又申込次第送）　壹枚金壹錢　（要送料）
現在品　JES 第1～7. 第15～26. 第36～56. 第77～87. 第108～111. 第137～142.
（特に「鐵及鋼 C. Si. Nn. P. S. Cu. Ni. Cr. W. No 分析法」の10種取揃へて50枚で金五拾錢外に送料東京市內金六錢市外金拾錢を要します。）

（5）日本鐵鋼標準試料　（八幡製鐵所製）　150瓦入壹瓶　鋼　金八圓　銑　金拾圓
（明細カタログは鐵と鋼に揭載あり又申込次第送）
鋼　品名　第1號 C 0·1. 第2號 C 0·2. 第3號 C 0·4. 第4號 C 0·6. 第5號 C 0·8%.
銑　品名　第6號鼠銑鐵＝C 2·8%

備考　(1)(2)(3)は殘本ですから數に限りありますから御希望の方はお早く御申込下さい。
(5)は無限に御需めに應じます。(4)も無限ですが未だ當局の認可を得ざるもの二三ありますが御申込あれば至急手續きしてお送り致します。

東京市麹町區丸ノ內三丁目二番地三菱二十一號館　日本鋼鐵協會　電話丸ノ內(23)三六二六〇　振替東京一九三番